

# 新刊摘要

陶廬詩續集 卷十二 王樹枏著。將晉卿詩翁乙丑丙寅之全部詩稿付梓出版者。乃此書也。輯有昨歲東游時之作。「文字同盟」之好資料也。

徐愚齋自叙年譜 附上海記徐潤著。徐潤雨之先生乃爲滬之紳賈。創招商輪船局。擴張交通。創同文書局。出版圖書等等。人之所知也。宣統三年卒。年七十四。有自叙年譜及上海記。刻已因友人關鐸初先生付印開版。

支那の風俗 永尾龍造著「支那の風俗」。爲「日本民族叢書」之一。永尾龍造先生之近著也。先生前年著刊「支那民俗誌」。爲一時學者所讚許。記者久聞先生之名。視爲吾邦支那風俗研究之開山。其啓蒙青年的努力。寔堪欽佩。今也其研究日精日微。著稿滿筐。近刊「支那の風俗」一書。不過其一鱗耳。內容分爲小兒。結婚。歲時。迷信諸篇。說明平易。不覺讀之而起舞也。(東京日本橋鐵砲町六磯部甲陽堂發行價壹圓七十錢)

詩人王先生の乙丑丙寅兩年の詩作。昨年東遊の時の作も輯めらる。(本號「詩文」欄にその三首を抜く)。

徐潤氏は上海の紳商で、汽船會社招商局書肆同文書局をいたした人であるその著「自叙年譜」と「上海記」が關鐸氏によつて付印出版。

永尾龍造氏の「支那の風俗」出づ。著者は支那風俗研究の開山であつて、さきに「支那民俗誌」の著があり、巨多の著稿を有せらる。そして近著「支那の風俗」はその鱗爪に外ならない。説明も平易、一般讀者にも興味深き著作である。

〔目錄〕小兒篇 難産に關する迷信、小兒の天然痘に關する迷信、洗三の話、結婚篇 鬧房の習慣 處女性を示す喜帕の話、内蒙古の結婚、年中行事篇 除夜元旦臘八粥の話 竈祭り 迷信斷篇 魔除 道教の天地開闢傳説 道教の太陽と月との傳説 星に關する傳説

國學月刊 二卷七號

目次如下。△蓮社年月續考 儲皖峰

聞くところに據れば、該誌の第八九十の

△格物的解釋 劉堯民△春秋的研究〔續〕衛聚賢△達人史

三期は王靜庵特別號とし、陳馬諸教授の論文、及び靜庵先生の遺著十數篇を合刊すると。

話之一、二 姚名達△聞談誌準於八、九、十期。出刊王靜安先生專號。計有陳寅恪馬叔平諸家述作。又將靜庵遺著數十篇刊入云。〔北京景山東街懷社出版。一期一角〕

垂憲

創刊號 柳田泰麓泰雲創辦一書道雜誌。名曰垂憲。取義於說文序垂憲象之語。載有僧空海「勅賜屏風書

說文許慎序の垂憲家の語にとり「垂憲」といふ書道雜誌出づ。創刊號中、弘法大師の「勅

了表」。及渡邊晨畝「悼金拱北先生」等。此誌爲毎月一回發行。〔東京深川區龜住町四泰鹿書道會發行〕

賜屏風書了表」及渡邊晨畝氏の「日支藝術提携主唱者亡友金先生の死を追悼す」等あり。

左傳眞僞考譯書

著名なる支那學者コロクリン氏の「左傳

及其性質〔the Authenticity and the Nature of the Tso-chuan〕爲理羅偏倫〔Bernhard Karlgren〕之著。著者乃爲著名東方學者。已因陸侃如譯爲華文。現在胡適等滬上所辦

の眞僞及びその性質」といふ書は、近く陸侃如氏によつて漢譯され、「左傳眞僞考」として

之新月書居。付印出版云。〔據陸侃如「左傳眞僞考」の譯者引言〕

胡適氏が上海で經營してゐる新月書店から出版されると。